

頸城区 51号 2026・9 地域協議会だより

発行 頸城区地域協議会
編集 頸城区地域協議会事務局
(頸城区総合事務所
総務・地域振興グループ)
☎ 025-530-2311
FAX 025-530-2001

5月21日に開催した地域協議会において、新たな会長、副会長を選任しました。任期は、令和10年4月28日までとなりますので、よろしくお願いいたします。



新保 哲男 会長

このたび、頸城区地域協議会の会長を務めることとなりました。大きな責任を感じるとともに、地域の皆様と一緒に頸城区の未来を考え、行動していけることを大変うれしく思っております。

私たちは、地域活性化の方向性 住みたい、訪れたいまち「頸城区」を目指し活動を行っています。大池・小池を活かした観光、「ぐびきのお宝」であるレールパークや館の活用、季節の花が咲く通学路やポケットパークの整備、外国人市民との交流やファーマーズマーケットの開催、さらには地域の魅力を伝える情報発信と子どもたちが楽しめる場の創出など、多くの可能性があります。

一方、人口減少や少子高齢化が進むなか、若い世代が住み続けたい、移住したいと思える環境づくり、地域の魅力を活かし「訪れたい」と思われるまちづくり、そして誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりが重要な課題となっています。

地域の皆様の声を大切にし、世代や立場を超えて知恵を出し合いながら、魅力ある頸城区の未来を次の世代に繋いでいきたいと思えます。

このたび、上村会長が退任され、次の会長に新保氏、副会長に私、小川が選任されました。新保会長とともに協議会の円滑な運営に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、昨年、小菅市長が就任し、新しい上越市政が始まりました。

頸城区においても、地域の魅力を活かした「訪れたいまちづくり」や、若い世代が「住み続けたい」移住したいと思えるまちづくりなど、地域外から人を呼び込み人口減少を抑制するための地域づくりを皆様と進めていきたいと思っております。そのためにも、各団体の皆様と意見交換を重ねながら、より良い地域づくりに一緒に取り組んでいきましょう。

皆様のご理解とご支援をお願いし、頸城区の活性化に少しでも貢献できればと思います。よろしくお願いいたします。



小川 泉 副会長

地域協議会の「いき」

令和7年度

◆3月25日 第9回地域協議会

・上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組の計画案について（報告）

・令和8年度頸城区地域協議会のスケジュールについて（自主的な審議）

令和8年度

◆4月9日 第1回地域協議会

・令和8年度頸城区地域協議会の取組について（自主的な審議）

・令和8年度頸城区における主な事業について（報告）

◆5月21日 第2回地域協議会

・会長並びに副会長の選任について（協議）

・地域自治の推進に向けた今後の方策案について（報告）

◆6月18日 第3回地域協議会

・自主的な審議で取り組むテーマについて（自主的な審議）
・地域自治の推進に向けた今後の方策案に関する意見交換の内容について（報告）

◆7月16日 第4回地域協議会

・上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組案について（報告）

・自主的な審議で取り組むテーマについて（自主的な審議）

◆8月20日 第5回地域協議会

・市民の消火栓使用について（報告）

・地域協議会会長会議について（報告）

・自主的な審議で取り組むテーマについて（自主的な審議）

◆9月3日 第6回地域協議会

・地域独自の予算事業に代わる新たな財源支援の仕組みについて（報告）

◆9月17日 第7回地域協議会

・地域にぎわい事業補助金の評価及び地域ビジョンの作成について（協議）

・上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組案について（報告）

頸城区地域協議会の活動状況は市のホームページで公開しています。詳しくはこちらの二次元コードからご覧ください。



地域にぎわい事業補助金

市では持続可能な地域づくりに貢献する活動を支援するため、「地域にぎわい事業補助金」を創設し、令和9年度から運用を開始することいたしました。新制度の概要についてお知らせします。

事業概要

市では、持続可能な地域づくりを推進するため、各地域自治区におけるまちづくりを地域住民が主体的に考え、地域の様々な主体が連携・協働して行う活動に対し、補助金を交付します。

募集期間

令和8年9月1日（火）～12月28日（月）必着

※内容に応じて活動内容への助言や提案をさせていただくため、お早めのご相談をお願いします

補助額

活動に必要な補助対象経費から、参加費等の活動実施に伴う収入を差し引いた額

※審査の結果、不採択となる場合があります。

※活動ごとの上限額はありますが、各地域自治区の上限額は超過できません。

補助率

10/10以内（千円未満切り捨て）

※提案状況や地域協議会での評価等によっては、10/10を下回る場合があります。

対象者

5人以上の構成員等で、市の区域内で活動する法人及び団体

※政治活動、宗教活動及び営利活動を目的とする法人又は団体を除きます。

対象とする活動

各区の地域協議会には、地域のありたい姿、解決したい地域課題、大切にしたい地域資源や活動などを掲げた「地域ビジョン」の策定を依頼します。そして、地域ビジョンを実現するための地域活動を住民の皆さんから募集します。

ただし、令和9年度については、地域協議会で作成済みの「地域活性化の方向性」に適合する活動や地域ビジョンに掲げる内容としてふさわしい活動も対象とします。

【活動の一例】

- ・地域ぐるみの教育・福祉活動（子育て・学習支援、送迎・宅配、見守り、介護予防など）
- ・町内会など地域コミュニティ活動の支援（清掃活動、除雪ボランティアなど）
- ・特産品の開発や販売促進、地産地消の推進による地域経済の活性化
- ・移住・定住の促進や関係人口の創出（地区の情報発信、空き家の活用促進、まちなみ・景観保全、交流イベントの実施など）
- ・地区内の集いの場づくり

◎提案・問合せ先◎

上越市総合政策部頸城区総合事務所

TEL (025) 530-2311

MAIL kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp



詳しくは
こちらの
ホームページから

“ 地域独自の予算事業 ” 活動の紹介

令和8年度の地域独自の予算事業では、12件の事業を実施しています。
今回は4つの活動を紹介します。

地域独自の予算事業とは、、、

それぞれの地域の課題を解決し、活力の向上を図るために、地域の 実情にあった取組を更に実現
していくことを目的とした上越市の事業です。



大池の四季散策と 親子イベント体験事業

“ 大池の四季を感じる散策ツアー ”

エメラルドグリーン湖の湖面、目を移すと雪を残す妙高山、やさしい新緑の若葉、大池散策シーズンの幕開けです。

頸城区観光協会では、地域独自の予算事業を活用し大池の魅力を発信するべく年間5回の散策イベントを開催しています。

四月の「春を満喫しよう編」では、春の花々を楽しむながら新緑の小道を散策し、五月の「ササユリが咲くころ編」では、可憐に咲くササユリで癒され、十月の「秋のキノコを探そう編」は、松茸は取れなくなりましたが数多くのキノコが観察でき、子供さんやお孫さんと参加するには最適な催しものです。十一月の「錦秋の大池を歩こう編」は、広葉樹の色鮮やかな紅葉のトンネルの中を散策できます。三月の「大池を歩いて春を探そう編」では、雪が残る大池を歩いて春を探します。

このように身近にある大池周辺の四季折々の魅力をお友達や家族と楽しむことができるイベントになっています。

地域協議会委員 西巻 肇



「瀧本邸の保存・再生・活用と新たな 観光産業創出検討ワークショップ事業

頸城区の財産である瀧本邸（集義園・懷徳亭）の「保存・再生・活用」に向け、「上越の歴史的建造物と景観を守る会」は、地域に根差した「稼げる歴史的観光拠点」を目指す取組が進められています。

市民参加や行政との協働により、アイデア抽出や事業化計画の立案、仲間づくりに向けた取り組みを進めており、これまで2回の意見交換を行いました。今後は実施可能な事業の検討を進めていく予定です。

このほか、瀧本邸のファン獲得に向けた苔の観察会や苔玉作りなどの体験講座も計画されていますので、瀧本邸の魅力を体感していただけるものと思っています。

地域協議会委員 船木 貴幸



頸城区の情報を定期的に発信する ポータルサイト事業

“つながりを育てる情報発信”

頸城区では、ジモ活Baseを中心に地域の情報発信を進めています。必要な人に必要な情報を届け、また、情報を受け取れる人を増やしていくための活動が続けられています。

SNSによる情報発信は、「住んでいなくても地域とつながる人」を増やす力があります。地域に関心を持つ人へ情報が届くことで、地域とのつながりが広がっていきます。

一方で情報発信には課題もあります。作業の負担が特定の人に集中したり、誤った情報や誤解が広がったりする可能性もあります。そこで頸城区では、ジモ活Baseが地域に身近なアドバイザーとして、そうした不安や課題の解消を支援しながら、地域の皆さんと連携して頸城区の魅力や地域活動を発信しています。

情報発信は、地域のつながりを広げ、地域づくりを支える大切な取り組みのひとつだと思います。

これからも地域の皆さんとともにこの活動が広がり、頸城区の未来へとつながる活動として続いていくって欲しいと思っています。

地域協議会委員 橋本 春美



外国人市民との交流及び ファーマーズマーケット

地域独自の活動として取り組まれた本事業は農作業をきっかけに、外国人市民と地域住民が交流し、その成果物の販売と外国の食文化やカルチャーの発信・交流する場として計画され、2年目を迎えました。

今年は夏・秋2回の開催が計画されました。夏は、梅雨明け早々の8月1日、天気はやや曇天でしたが、猛暑になることなくとても良い気象条件での開催となりました。翌日の「びきの祭典」と合わせると数年ぶり2日間通しての開催は、子供の頃のわくわくした祭りの感覚が蘇ってきました。

主催者は、頸城区在住の外国人市民の方に、どれくらい興味を持ってもらえるかが課題だと話されていました。

会場では、外国人市民の方々が、スタッフや出演者として参加し、地域の皆さんと一緒に楽しんでいる様子を見ることができ、とても印象的でした。特に民族音楽・舞踊・演奏は言葉の壁を超える破壊力があると感じました。

また、主催者は、集客と告知方法に課題を感じているようでした。秋の開催に向け、より多くの皆さんから参加いただけるイベントになるよう取り組んでいきたいとのことでした。

地域協議会委員 滝本 篤透

編集後記

朝夕には涼しい風が感じられるようになり、頸城区の田園には収穫を終えた風景が広がり、実りの秋の深まりを感じる季節となりました。

このたび、頸城区地域協議会では新たな会長、副会長が就任し、新しい体制で活動をスタートいたしました。これまでの歩みを大切に受け継ぎながら、地域の皆さんの声に真摯に耳を傾け、より良い地域づくりに向けて委員一同力を合わせて取り組んでまいります。

地域の未来は、一人ひとりの思いと行動によって築かれていきます。本紙が地域協議会の活動を身近に感じていただくきっかけとなり、地域づくりへの関心や参加につながれば幸いです。

今後とも、頸城区地域協議会への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域協議会委員 竹田 由紀子